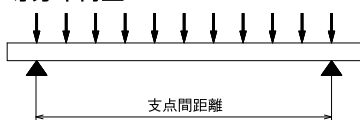
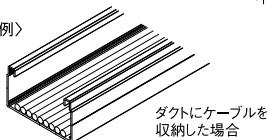


配線ダクトたわみデータ

等分布荷重



〈荷重事例〉



ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
80×45		1.0	2.0	3.0
許容	N	1201	300	133
静荷重	kgf	123	31	14

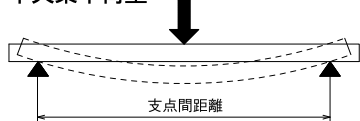
ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
80×60		1.0	2.0	3.0
許容	N	2471	618	275
静荷重	kgf	252	63	28

ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
120×45		1.0	2.0	3.0
許容	N	1362	340	151
静荷重	kgf	139	35	15

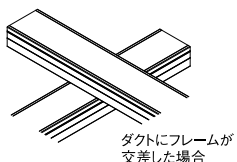
ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
120×60		1.0	2.0	3.0
許容	N	2922	731	325
静荷重	kgf	298	75	33

※許容静荷重は、最大たわみ量が支点間距離の  $\frac{1}{300}$  (mm) 以下として算出。

中央集中荷重



〈荷重事例〉



ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
80×45		1.0	2.0	3.0
許容	N	784	204	87
静荷重	kgf	80	21	9

ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
80×60		1.0	2.0	3.0
許容	N	1517	417	183
静荷重	kgf	155	43	19

ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
120×45		1.0	2.0	3.0
許容	N	814	228	97
静荷重	kgf	83	23	10

ダクトフレーム		支点間距離 (m)		
120×60		1.0	2.0	3.0
許容	N	1646	500	224
静荷重	kgf	168	51	23

※許容静荷重は、最大たわみ量が支点間距離の  $\frac{1}{300}$  (mm) 以下として算出。

施工およびダクトサイズの見直しについて

1. ダクトサイズの選定

- (1) 電線本数
- (2) 増設工事のための予備スペース

上記を考慮し選定してください。ご不明な点がありましたらSUS (株) 最寄の営業所までお問い合わせください。

2. 取扱いについて

- ・本製品は「電気設備の技術基準の解釈」(平成20年4月改定)及び「内線規定」の「ケーブル工事」に該当します。「電気設備の技術基準の解釈」第187条の「ケーブル工事」に基づき施工してください。
- ・屋内の外傷を受ける恐れのない乾燥した露出場所、点検できるいんべい場所以外は施設することができません。(電気設備の技術基準の解釈第174条)

3. 収容最大本数について

内断面積の20%以内にてご使用ください。

VCTFケーブル収容本数(参考値)

ケーブルサイズ	ダクトサイズ			
	80×45	80×60	120×45	120×60
0.3sq-4C	29	40	45	61
0.3sq-10C	13	18	20	27
1.25sq-4C	10	15	16	22
2.0sq-4C	9	12	14	19

ダクト内断面積

ダクトサイズ	内断面積 (mm <sup>2</sup> )	内断面積 (mm <sup>2</sup> )×20%
80×45	3118	624
80×60	4273	855
120×45	4786	957
120×60	6514	1303